



令和7年度 学校だより

南中だより

校 訓： 自治・責任・敬愛

教育目標： 元気な未来を創造する南中生

第5号(令和7年9月11日)

発行：伊丹市立南中学校長 八束 伸明

令和7年度全国学力・学習状況調査結果について

3年生対象に、令和7年(2025年)4月17日(木)に行われた「全国学力・学習状況調査」について、本校の結果等をお知らせいたします。なお、この調査で測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一つの側面です。

1 生徒に対する調査

(1) 学力に関する調査

〔国語・数学・理科〕それぞれ50分

- ① 身につけておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能など
- ② 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力など

※ 上記①と②を一体的に問う

(2) 学習状況に関する調査(生徒質問紙)

中学校第3学年の生徒対象の、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査



2 調査結果について

【国語】

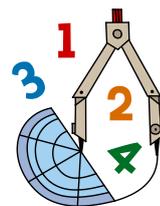
○全国及び兵庫県の平均正答率をやや上回る結果でした。また、「学習指導要領の内容・評価の観点・問題形式」の分類ごとに見ても、すべてにおいてやや全国及び兵庫県の平均を上回っていました。

【数学】

○全国及び兵庫県の平均正答率をやや上回る結果でした。また、「学習指導要領の領域・評価の観点・問題形式」の分類ごとに見ても、すべてにおいてやや全国及び兵庫県の平均を上回っていました。

【理科】

○全国及び兵庫県の平均正答率とほぼ同様の平均正答率でした。



【学習状況に関する調査結果について】

この調査は、学習や生活に関する質問紙調査で「学習に関する調査」と併せて行われました。

- ①「朝食を毎日食べていますか」という質問については、およそ9割の生徒が肯定的に回答していました。
- ②「毎日、同じくらいの時刻に寝ている」という質問については、およそ8割の生徒が肯定的に回答していました。
- ③「毎日、同じくらいの時刻に起きている」という質問については、およそ9割の生徒が肯定的に回答していました。
- ④「自分にはよいところがあると思う」という質問については、およそ8割の生徒が肯定的に回答していました。
- ⑤「人の役に立つ人間になりたいと思う」という質問については、9割以上の生徒が肯定的に回答していました。
- ⑥「学校の授業以外に普段(月曜日から金曜日)、1日あたりどれくらいの時間、勉強しますか」という質問については、1時間以上と回答した生徒は、およそ6割でした。
- ⑦「地域や社会をよくするために何かしてみたい」という質問については、およそ6割の生徒が肯定的に回答していました。
- ⑧「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり新たな考え方に気づいたりすることができる」という質問については、およそ8割の生徒が肯定的に回答していました。

【今後の取り組みについて】

- 「何を学ぶか」を意識するよう「本時のねらい」を明示し、授業に見通しをもって取り組み、「振り返り」を通して学習内容の定着をめざします。
- 学習内容の理解を深めるために、自らの考えをもとに対話的な学びを進めます。
- 自分の言葉で説明したり、伝え合ったりすることで考えや学びを深めます。
- タブレット端末等、ICT機器を活用し、情報・通信技術を適切に活用する力、調べてまとめる力を身につける学習の充実を図ります。
- 終礼時の「学習タイム・コミュニケーショントレーニング」やテスト前を中心に「先生教えてクラブ」を実施し、個に応じた学びの支援を行います。
- 豊かな感性を育む体験活動の実施および学びを深める事前・事後学習を行います。
- 学校図書館を活用し、学校司書との連携により読書教育を充実します。
- 自他を大切にし、思いやりに満ちた温かな人間関係を築くために、特別の教科道徳の時間を要として、道徳教育を推進します。
- 教員の研修会を充実させ、「わかる授業」の創造に努めます。
- 小学校と情報交換し、中学校ブロックでの学力向上に努めます。



地域の方から

南小フェスタの際、南中生がお手洗いで困っている人を見かけ、ずっと付き添っていたそうです。その方が、とても感謝されていたと地域の方が教えてくださいました。人様のお役に立つ、良いことをしましたね。素敵です！！

